

CONTENTS

- 02 平成30年度当初予算
- 04 桜川市職員の人事異動
- 06 SAKURA フェスティバル開催
シリストラ市桜川訪問団来訪
- 07 まちの話
- 08 いばラッキー通信 vol.4
平成29年度岩瀬小学校卒業生壁面制作
寄付寄贈
- 09 ヤマザクラ通信 vol.5
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 地域医療情報
災害時における協定を締結

表紙

第3回 ヤマザクラの里 桜川市
SAKURAフェスティバル



4月14日、桜川市総合運動公園で第3回ヤマザクラの里桜川市SAKURAフェスティバルが開催されました。

写真は、西ステージで行われたYOSAKOIフェスタin桜川で披露された踊りの様子です。市内外のチームによる踊りは、多くの来場者を魅了しました。

桜川市の人口と世帯

【人口】 42,643人 (－157)
【男】 21,137人 (－66)
【女】 21,506人 (－91)
【世帯】 15,329世帯 (－13)
()は対前月増減

住民基本台帳
平成30年4月1日現在

平成30年度 当初予算

総額 342億8,644万円
一般会計 189億5,000万円

桜川市の基本となる平成30年度当初予算が、平成30年第1回桜川市議会定例会で、可決・成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は189億5,000万円、国民健康保険特別会計など6つの特別会計と2つの事業会計を含めた予算総額では、342億8,644万円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約1%の減となります。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせします。

平成30年度当初予算一覧

区分	平成30年度予算	
一般会計	189億5,000万円	
特別会計	国民健康保険	53億5,923万円
	農業集落排水事業	4億2,730万6千円
	公共下水道事業	6億1,408万4千円
	介護保険	42億3,524万7千円
	介護サービス事業	924万2千円
	後期高齢者医療	4億2,313万1千円
水道事業会計	13億3,275万8千円	
病院事業会計	29億3,544万2千円	
合計	342億8,644万円	

歳入 市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約28%を占めています。続いて多いのが市税で、市民税・固定資産税・軽自動車税などです。次に多いのが、国からの補助金である国庫支出金。以下、市債、繰入金、県支出金などの順になっています。

※()内は、構成比率

一般会計の歳入 (市に入ってくるお金)

- ①地方交付税 53億5,000万円(28.2%)
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 45億5,462万6千円(24.0%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③国庫支出金 19億3,873万2千円(10.2%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ④市債 18億5,320万円(9.8%)
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ⑤繰入金 16億5,252万4千円(8.7%)
- ⑥県支出金 12億2,959万9千円(6.5%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑦地方消費税交付金 7億1,835万9千円(3.8%)
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑧諸収入 5億4,595万9千円(2.9%)
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑨繰越金 3億円(1.6%)
- ⑩その他 8億700万1千円(4.3%)

市民1人(1世帯) 当たりはこんな金額

市の予算を市民の皆さんに身近に感じていただくため、平成30年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(1世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

- 市民の皆様が負担する税を1人(1世帯)当たり
に換算すると
10万6,808円(29万7,125円)
- 市政に使われるお金を1人(1世帯)当たり
に換算すると
44万4,387円(123万6,219円)

※人口/42,643人
世帯/15,329世帯
(平成30年4月1日現在)

平成30年度 一般会計主要事業の予算

ハード事業

(建物の建設・修繕、道路整備など工事をする事業)

- 総務費▶大和駅北地区開発整備事業…17億190万4千円
- 教育費▶桃山小中一貫教育校建設事業…2億5,307万8千円
- 土木費▶道路新設改良事業…1億2,934万6千円、道路維持事業…7,315万4千円

ソフト事業

(ハード事業以外の事業)

- 総務費▶国体開催事業6,782万2千円、公共交通事業…4,931万5千円
- 民生費▶障害者福祉事業…9億3,765万3千円、老人医療給付事業…6億2,957万4千円、介護保険事業…6億110万4千円、児童手当事業…5億9,656万5千円、生活保護支給事業…5億7,323万1千円、子どものための教育・保育給付事業…5億2,614万2千円、国民健康保険事業…4億8,483万円、医療福祉事業…3億2,997万円
- 教育費▶学校給食センター事業…3億1,949万3千円、小学校管理事業…1億6,206万2千円、史跡等保存整備事業…1億3,062万2千円、中学校管理事業…6,804万3千円
- 衛生費▶保健衛生総務事業…15億1,284万2千円、清掃総務事業…5億3,861万2千円、予防総務事業…7,914万1千円
- 農林水産費▶農業集落排水繰出事業…2億2,417万、多面的機能支払交付金事業…1億7,065万9千円、霞ヶ浦用水事業…1億4,204万4千円

歳出 市民の皆さんのお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障がい者・児童などの福祉の充実を図るために使われます。続いて多いのが、市立病院整備や公共交通、情報管理などの総務費です。次に多いのが、健康促進、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費。以下、学校給食センターや市立学校などの教育費、公債費、土木費、農林水産事業費、消費費などの順になっています。

※()内は、構成比率

一般会計の歳出 (市民の皆様のために使われるお金)

- ①民生費 58億1,531万8千円(30.7%)
社会福祉サービス、生活保護など
- ②総務費 37億149万3千円(19.5%)
市立病院整備、公共交通、情報管理など
- ③衛生費 24億9,808万5千円(13.2%)
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ④教育費 18億6,027万2千円(9.8%)
学校給食センター、市立学校など
- ⑤公債費 15億5,386万5千円(8.2%)
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 13億4,962万8千円(7.1%)
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦農林水産事業費 9億8,287万9千円(5.2%)
- ⑧消防費 8億2,353万9千円(4.3%)
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 3億6,492万1千円(2.0%)

